

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

| | | | | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|--|--|---|
| 作成基準日 | 令和6年4月1日 | 作成担当部署 | スポーツ・文化振興課 | 電話番号 | 52-2111 | 代表者 | 理事長 田崎 登保 |
| 名称等 | 名称 | 公益財団法人 日向文化振興事業団 | | 所在地 | 〒883-0046 日向市中町1番31号 | | |
| | 設立年月日 | 平成元年9月29日 | | 電話番号 | 0982-54-6111 | ホームページアドレス | https://hyuga.main.jp/ |
| 資本金 | 30,000千円 | 設置目的 | 文化芸術・スポーツ振興及び交流を図り、魅力ある文化と地域づくりに寄与する | 事業(業務)内容 | 音楽・演劇・美術展・講演会各種イベント等自主企画の実施 文化芸術の振興及び地域づくりのための施設提供など | | |
| 役員数及び給与の状況 | 役員 | | 役員報酬総額 | 有給職員(臨時・パート職員は除く) | | 有給職員の | 職員給与総額 |
| | 総数 | うち市出向者・退職者数 | (千円)R5年度 | 総数 | うち市出向者・退職者数 | 平均年齢 | (千円)R5年度 |
| | 14 | 1 | 440 | 5 | 1 | 49 | 26,425 |
| 第三セクターへの関与の状況 | (1)公的支援(財政的関与) | | | | | | |
| | 項目 | 金額(千円) | | | 備考(目的・内容・算出根拠等) | | |
| | | R3 | R4 | R5 | | | |
| | ① 運営補助金 | 6,498 | 1,105 | 0 | | | |
| | ② 指定管理料 | 53,428 | 53,428 | 54,414 | | | |
| | ③ 貸付金 | | | | | | |
| | ④ その他(業務委託) | 2,223 | 2,361 | 3,113 | 自家用工作物保安管理業務、中央公民館ボイラ設備操作点検業務、男女共同参画社会づくり推進ルーム及び市民活動支援センター施設維持管理 | | |
| | 合計 | 62,149 | 56,894 | 57,527 | | | |
| | ・ 短期貸付金残高 | | | | | | |
| | ・ 長期貸付金残高 | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | |
| (2)人的支援(人的関与) | | | | | | | |
| (3)その他の取組(その他の課題) | | ・指導・監督の強化 | 所管課と日向文化振興事業団で毎月定例会議を開催 | | | | |
| | | ・情報の公開 | 施設内掲示板、ホームページで決算等公開 | | | | |
| 法人自らによる経営健全化のための具体的な取組 | 経営課題 | 経営健全化策(具体的取組) | | 取組結果 | | 点検・評価 | |
| | 経営形態見直し策(自主事業) | 市民ニーズのマーケティングによる効果的な事業実施と周辺自治体類似施設との連携(差別化)に取り組むなどして、集客増を図る。また、通年実施している自主事業において事業のあり方等について検討する。新規に建設された施設等に対し、事業案内ポスターの配布を検討する。 | | 自主事業については、市民参加型のイベントや、幅広い世代の市民の皆さんが満足できる催しの提供と併せて、赤字リスクの少ない「共同主催(共催)」形式としたり、2件の主催事業において文化庁補助事業の活用を図る等、事業収支はもとより経営の健全化を意識した取組みを推進しました。 | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった アフターコロナにおいて、利用者が増加傾向にあることや、自主文化事業の黒字化が難しい中で、国の補助事業や共催事業を活用し赤字リスクを抑える取組を行っていることについては評価できます。 一方で、自主事業は依然として赤字であるため、経営健全化に向けた事業展開が重要となります。 市民ニーズのマーケティングを通じた効果的な事業実施や周辺自治体との連携による集客増を図っていただきたいと思います。 赤字が予想を上回った要因の分析内容を今後の事業展開に生かされることを期待します。 | |
| | 経営形態見直し策(貸館事業) | 貸館事業において、市民ニーズに応えた料金設定見直しや学校教育及び生涯学習、文化連盟、体育協会等各種団体との事業連携の強化など営業活動の促進を図る。接客へのクレームに対しては、職員研修を重ねるなどスキルアップを図り、改善に取り組む。 | | ポストコロナ社会の時代へと移行した令和5年度は、施設の稼働率、利用者数ともに、前年度を上回る実績となりました。接客については、職員一人ひとりが丁寧な対応を心がけており、クレーム等はありませんでした。また、現在、社会問題になっている「カスハラ対策」の対応として、日向警察署との連携強化を図っており、有事の際はすぐに通報する等の対処を、職員間で確認しました。 | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 貸館事業について、デジタル化や施設使用申請の簡素化による稼働率向上の取組等により、施設の稼働率や利用者数が前年度を上回る実績となっており、良い成果を上げていると評価できます。 貸館事業は財源確保の要となるため、利用者増に向けた更なる工夫が求められています。 収益についてはコロナ禍以前の水準に回復していると考えられますが、以前と比べ利益率の低下も見られることから、人件費や物価高騰の影響を踏まえ、料金設定の見直しの検討も必要であると考えられます。 施設設備面での制約もあるかと思いますが、更なる収益事業の展開を期待します。 | |
| | 経営体制強化策 | 財団職員等の業務分担を見直し、効率的に運営できるようにしていく。 | | 業務分担表の細分化を行い、職員一人ひとりの役割分担を明確にしました。併せて、7つの業務アプリケーションの活用により、業務の効率化、情報の共有化が促進されました。 | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 業務分担表の細分化により、職員一人ひとりの役割が明確になったことなど、業務分担の見直しと効率的な運営が進められていることは評価できます。 業務アプリの導入については拡張性もあり、デジタルによる業務の効率化や職員の働き方改革にもつながる良い取組と思われますので、今後もこれらの取組を継続し、更なる業務効率化と働きやすい環境の整備に努めていただきたいと思います。 | |
| 実績検証見直し | 事業計画(目標数値)に対する実績等の検証とその改善に向けた取り組みについて、定期的な会議を開催する。また、自主文化事業の拡大に努め、市民の文化振興を図る。 | | 全職員による事務局会議を毎月開催し、自主文化事業の計画、進捗、実績状況をはじめ、施設の老朽化・長寿命化対策、財団の経営等について、課題の共通認識を持つようになっています。 | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 職員が当事者意識を持って財団の運営に取り組むことができていると思われます。 今後も職員間での積極的なコミュニケーションを通じて経営改善に取り組むとともに、市民や利用者のニーズや反応等について状況確認を行いながら、事業を展開していただきたいと思います。 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------------|---|--|-----------------|---|---------|---------------|--------|--------|---------|
| 市による財政的なリスクへの対処のための具体的な取組 | 企画検討 | 企画及び事後評価委員会に参加し、企画内容の検討を行う。 | 市と財団職員で毎月開催している運営協議会において、事業内容、進捗状況の諸報告を行い、情報・課題の共有、連携を図るとともに、今後の事業についても意見交換を行っています。 市としても財団主催イベントの周知に協力し、市職員や学校をはじめ、自治会(区)に対し、周知を行いました。 | | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 運営協議会での事業内容や進捗状況の確認、情報や課題の共有はなされていますが、事後評価がどのように生かされ、どのような効果が表れているかについても明確にすることが必要です 運営協議会の結果を踏まえた取組については、企画が検討途中であることや意思決定に至らなかった場合など、具体的な記入が難しい面もあるかもしれませんが、経営状況の点検評価を行うためにも、本項目に具体的内容を記載することの検討をお願いします。 | | | | | |
| | 進捗確認 | 毎月、運営協議会を開催し、事業進捗の確認や検証を行う。 | 毎月、市と財団職員で運営協議会を開催し、事業報告、施設管理、経営状況について、情報共有を図るとともに、意見交換のなかで目線合わせを行っています。 また、施設・設備の老朽化に伴う諸対策についても、市と財団が密に連携を図り、分担を明確にして、具体的な対策、工事等を進めました。 | | | <input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設についてはよく管理されていると思いますが、施設の老朽化対策は大きな課題となっているため、安全・安心に利用できる施設を維持していくためにも計画的な修繕・改修が必要となってきます。 今後の修繕計画を進めていくにあたっては、専門家等からも意見を聴取するなどしながら財政的に負担の少ない、効率的な修繕方法についても検討をお願いします。 | | | | | |
| 財務状況 | 貸借対照表 | 金額(千円) | | | 損益計算書・正味財産増減計算書 | 項目 | 金額(千円) | | | | |
| | | | R3 | R4 | | | R5 | | R3 | R4 | R5 |
| | | 資産合計 | 52,365 | 54,399 | | | 52,813 | 経常収益 | 90,393 | 78,034 | 98,625 |
| | | 負債合計 | 10,410 | 12,831 | | | 12,489 | うち市からの補助金・委託料 | 62,001 | 55,508 | 56,216 |
| | | 資本合計 | 41,955 | 41,568 | | | 40,323 | 経常費用 | 90,536 | 78,421 | 99,869 |
| | | 累積欠損金 | | | | | | 経常利益(損失) | △ 143 | △ 387 | △ 1,244 |
| | | | | | | | | 当期利益(損失) | △ 143 | △ 387 | △ 1,244 |
| 指標関係 | 指標(数値目標) | | R2実績 | R3実績 | R4実績 | R5目標 | R5実績 | R6目標 | | | |
| | 財務指標 | 当期利益(千円) | 780 | △ 143 | △ 387 | 100 | △ 1,244 | 100 | | | |
| | | 流動比率(%) | 102 | 100 | 97 | 100以上 | 141 | 100以上 | | | |
| | | 施設利用料金収入(千円) | 5,605 | 10,633 | 14,382 | 19,000 | 13,757 | 15,000 | | | |
| | 活動指標 | 利用者数(人) | 16,621 | 31,410 | 55,778 | 81,200 | 72,106 | 75,000 | | | |
| | | 大ホール稼働率(%) | 10 | 26 | 33 | 45 | 38 | 40 | | | |
| | | 小ホール稼働率(%) | 10 | 27 | 38 | 60 | 50 | 55 | | | |
| | | マーケティング調査実施回数 | 4 | 4 | 2 | 4 | 4 | 4 | | | |
| | | 自主文化事業実施回数 | 3 | 16 | 15 | 15 | 22 | 23 | | | |
| | | 参加創造型事業実施回数 | 0 | 3 | 5 | 5 | 7 | 7 | | | |
| 定例会議実施回数 | | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| 財務・活動・成果指標取組結果 | ポストコロナ社会の時代へと移行した令和5年度は、施設の利用者数、事業収益(自主文化事業収益等)ともに、前年度を上回る実績となりました。 自主事業については、鑑賞型の公演をはじめ、市民参加型のイベントや、幅広い世代の市民の皆さんが満足できる催しの提供と併せて、赤字リスクの少ない「共同主催(共催)」形式としたり、2件の主催事業において文化庁補助事業の活用を図る等、事業収支はもとより経営の健全化を意識した取組を推進しました。 また、開館から34年経過し、施設の老朽化が進んでいることから、利用者がいつでも安全・安心に利用できるよう、老朽化の著しい施設・設備に対して、限られた予算のなかで優先順位を付し、必要な修繕や点検を行い適切な管理に努めました。 | | | | | | | | | | |
| 第三セクター経営検討委員会点検評価総括 | 業績や資金等の状態、当期の赤字要因についてしっかりと把握・分析されており、これまでの経営分析に基づく事業の見直しや新たな取組に着手する姿勢は高く評価します。 一方で、アフターコロナの中での利用者の増加が利益に結びついていない現状があります。 利用者の拡大と収益の確保に向けて、デジタル化の推進による効率化とともに、新規顧客獲得に向けて、施設を利用していない方の意見収集やホームページでの情報発信等に取り組むことが重要です。 また、市においては、固定費の上昇等を踏まえた適正な施設使用料の算定や見直しについて検討するとともに、施設の老朽化対策についても、財政負担が大きく深刻な課題であることから、効率的・効果的な修繕・改修方法を調査研究しながら、中長期的な視点により、計画的に取り組んでいただきたいと思います。 文化芸術の振興と収益化を実現することは難しい課題ではありますが、引き続き、貸館事業における収益の確保を図りつつ、自主事業における赤字リスクの回避に取り組みながら、経営健全化に努めていただくことを期待します。 | | | | | | | | | | |
| | 第三セクター経営検討委員会による経営検討結果 | B | ⇒ | A 経営努力を行いつつ事業は継続 | | | | | | | |
| | | | ⇒ | B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要 | | | | | | | |
| | | | ⇒ | C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 | | | | | | | |
| | | | ⇒ | D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要 | | | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|-----------|--|---|---------------------------|
| 第三セクター経営 検討委員会の点 検・評価 結果を踏 まえた意 見 | 市 | 今後の方向性 | ア | ⇒ | ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続 |
| | | | | ⇒ | イ 事業内容等の見直しを行った上で存続 |
| | | | | ⇒ | ウ 再建を行いつつ存続 |
| | | | | ⇒ | エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡 |
| | | | | ⇒ | オ その他() |
| | | 今後の取組について | <p>利用者数はコロナ禍直前の水準に回復してきましたが、コロナ禍前から利用者数の頭打ち、減少傾向が見られていました。これまでの事業を見直しながら、アウトリーチやワークショップの充実など、市民の文化交流センターや文化芸術に対する意識のハードルを下げ、利用者の増加へつなげていく取組も必要です。</p> <p>施設設備については、老朽化に伴う不良箇所での転倒事故も発生していることから、事業団との適切な役割分担をもとに、優先度を踏まえた年次的な修繕・改修等に取組んでいきます。また、大規模修繕が必要な時期にも差し掛かってきており、実施にあたっては年単位の長期休館を要し、利用者にも多大な影響を与えることになるため、早期に庁内でコンセンサスを得るなど調整を進めていく必要があります。</p> <p>施設使用料の算定や見直しについては、固定費の上昇などを踏まえた適正な受益者負担のあり方という側面と、一方では利用者側の負担感や利用しやすさも考慮する必要もあることから、慎重に検討を進める必要があります。</p> <p>引き続き経営健全化の取組を進めながら、文化交流センターでの自主事業や館外でのアウトリーチの実施のほか、市民や文化団体等が行う事業に関する仲介・相談支援を通じ、日向文化振興事業団及び文化交流センターに対する市民の認知を高め、市民から親しまれ、利用促進されることで、本市における文化振興の中核としての役割の更なる向上を目指します。</p> | | |
| | 日公 事向 業益 団文 化財 振法 興人 | 今後の取組について | <p>新規顧客の確保に向けては、当館の特徴であるアリーナ併設機能等の周知・発信に努めるほか、「市民アンケート調査」を実施することと、地域住民のニーズや時代に呼応した公演の提供に努めます。</p> <p>また、自主事業の企画にあたっては、一定の集客が確実に見込まれるか、採算ラインが確保できる見込みであるか等を慎重に判断していきます。催行形式についても、赤字リスクの少ない「共催形式」としたり、文化庁補助事業等の積極的な活用を図るなど、リスクの軽減に努めつつ、当期利益の目標達成、黒字化に向けて、経営健全化計画に基づく取組を推進します。</p> <p>以上の取組と併せて、喫緊の課題である施設の老朽化対策の推進にあたっては、市担当課と情報共有、連携を密に図りつつ、利用者の皆さんが安全・安心に利用できる施設提供に努め、指定管理者として受託施設を適切に管理します。</p> | | |
| その他特 記事項 | | | | | |